

競 技 注 意 事 項

1 本大会は、2019 年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会要項によって行う。

2 ナンバーカード（ビブス）について

- (1) ユニフォームの胸と背に確実につける。ただし、跳躍競技は、胸または背につけるだけでもよい。
- (2) トラック競技は、招集時にレーンナンバーによる「腰ナンバーカード」を貸与する。ランニングパンツの右横やや後方に、明確に数字が読めるようにつける。リレーは、第4走者（アンカー）がつける。
- (3) 腰ナンバーカードは、フィニッシュ後、直ちに係員に返却する。

3 招集について

- (1) 招集場所は、正面スタンドの100mスタート地点の後方に設ける。
- (2) 招集の受付は本人が行い、時間に遅れたものは棄権とみなして出場を認めない。2種目に出場していて、競技時間と招集時間が重なっている場合は、事前に競技者係（招集所）へ申し出る。
- (3) 招集開始時刻および招集完了時刻は、当該競技開始時刻を基準とし、以下の通りとする。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	1 時間前	20 分前
フィールド競技	1 時間前	45 分前

- (4) リレーの招集は、オーダー用紙の提出をもって招集完了とする。用紙は、学校受付で用意する。リレーオーダー用紙は、8時25分までに競技者係（招集所）へ提出する。

4 競技について

- (1) トラック競技は、すべてタイムレース決勝とする。
- (2) テイクオーバーゾーンの入口は、競技場の改修ができていないため、旧加速ゾーンの入口に引かれている青色のラインの上に、白色のテープを貼って表示する。
- (3) 800m競走において、競技者が9名以上で実施する場合、外側のレーンから順に2名ずつ入れる。その場合、欠場者があれば、内側から若い腰ナンバー順につめるため、招集が完了し、出場者が確定してからスタートレーンを確定する。
- (4) 3000m競走では、出場人数に応じてグループスタートを実施する場合がある。その場合は、招集が完了し出場者が確定してからグループを分ける。
- (5) トラック競技とフィールド競技を兼ねている場合は、トラック競技を優先する。この場合は必ず、フィールドの審判員に申し出て許可を得る。
- (6) ハードルの規格は、以下のとおりとする。

	高さ	台数	スタート～1台	ハードル間	10台～フィニッシュ
男子 110mH	91.4 cm	10 台	13.72m	9.14m	14.02m
女子 100mH	76.2 cm	10 台	13.00m	8.00m	15.00m

- (7) フィールド競技の招集後競技開始前の練習は、審判員の指示によって行う。投てきは競技開始30分前より、審判の指示で練習を行う。それ以外には、勝手に練習を行わない。
- (8) 走幅跳・投てき種目の有効試技においては、計測ラインは設けず全員の計測を行う。
- (9) 走高跳・棒高跳びのバーの上げ方は、次の通りとする。ただし、参加競技者の状況や天候などの条件によっては、審判長の判断で変更する場合もある。

種 目	練習	最初の試技	バーの上げ方
男子走高跳	1 m 3 5 cm	1 m 4 0 cm	競技者が 1 人になるまでは 5 cm
女子走高跳	1 m 3 0 cm	1 m 3 5 cm	競技者が 1 人になるまでは 5 cm
男子棒高跳	2 m 2 0 cm	2 m 2 0 cm	2m80 cmまで 20 cm、2m90 cmより 10 cm
女子棒高跳	1 m 8 0 cm	1 m 8 0 cm	2m80 cmまで 20 cm、2m90 cmより 10 cm

5 競技用靴について

スパイクピンの長さは 9 mm以内とする。ただし、走高跳は 12 mm以内とし、スパイクピンの先端近くで少なくとも長さの半分は、4 mm四方以内でなければならない。なお、スパイクピンの数は 11 本以内とする。

6 表彰について

各種目の 1～3 位には、賞状を授与する。入賞者は成績発表後、本部席前にて表彰する。

7 競技場の使用について

- (1) 応援はスタンドで行い、本部席前や競技場内に立ち入って行わない。また、本部席前の通行は禁止とする。
- (2) 正面スタンド（2階席）前面のフェンスには応援幕、部旗等をはってはならない。
- (3) 清掃・ごみ処理は、各学校、各自で責任をもって行い、環境美化に努める。

8 その他

- (1) 開門時間は 7 時 3 0 分とする。役員と係生徒は 7 時 1 5 分に正面中央入口からの入場を許可する。開錠するゲートは、100m スタート側とゴール側ゲート、および正面中央入口横の 4 か所とする。
- (2) 各団体の控え席や待機場所はスタンド上を原則とする。走り幅跳びピット横のダッグアウトスペースは、控え席や待機場所として使用せず、立ち入り禁止とする。
- (3) ウォーミングアップのためのトラックの使用は 7 時 3 0 分～8 時 4 5 分とする。それ以外のトラックを使用した練習は認めない。ただし、ハードルの練習に限り、1500m の競技中、ホームストレートの 7・8 レーンの 3 台目までを使用してもよい。
- (4) プログラム記載の氏名や所属等に訂正があれば、受付後、本部に申し出る。
- (5) 400m までのレーン使用の競技では、他の競技者の安全確保のために、フィニッシュした後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走り、減速して止まる。
- (6) 応急処置を必要とする事故が生じたときは、本部席において処置を行う。なお、応急処置後の治療は、本人負担とする。
- (7) 貴重品は各自で保管する。万一の事故があっても責任は負わない。

◆選手の人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影について、以下の点にご協力ください◆

- ・保護者および本人の了解がない撮影を禁止します。
- ・写真・ビデオ等での撮影は、個人情報保護条例に基づき学校関係者および選手の家族を除き、必ず本部で撮影許可申請を行ってください。協議・確認の上、許可証（有料）を渡します。
- ・他者に著しく迷惑をかける行為として主催者が判断した場合は、直ちに警察および関係機関に連絡します。